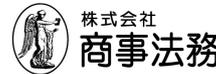


法務マネージャーによる 「リーガルリスク・マネジメント」の実務 ～経営にこたえる法務部門の役割～

【※本講座は、2022年3月29日～5月30日に配信したセミナーを再配信するものです】

セミナー番号:61230630



——組織内における法務部門がどのような位置づけにあるか(あるべきか)をあらためて確認し、法務部門がリーガルリスクに向き合う際によりよく機能を発揮するにはどうしたらよいかを考えていきます。

主要講義項目

1. リーガルリスクの複雑化・高度化と企業の対応
 - ・リーガルリスクの背景～グローバル経済の進展, ESGの潮流など
 - ・リーガルリスク・マネジメントという視点
2. 経営視点での「法務部門への期待」
 - ・経営視点からの法務部門の役割と法務部門が期待されるリスク管理の役割
 - ・「現場をよりよく知り, リスクの所在に鋭敏になってほしい」
 - ・「関連部署間においてリーダーシップを発揮してほしい」
 - ・「論理的に分かりやすい言葉で, 説明してほしい」
3. リーガルリスク・マネジメントに向き合う法務部門の位置づけ
 - ・法務部門の立ち位置とその可能性
 - ・リーガルリスク・マネジメントの要(かなめ)
4. リーガルリスクの把握
 - リーガルリスクの把握には, 表層的な情報だけで物事を判断せず, 事業の本質を理解し判断することが大事です。事業ストラクチャー全体の点検はもとより, 契約関係の存在理由, 交渉の背景, 当事者の立場・目的など, 多面的な分析・検討が求められます。ときには, 案件自体を自ら組み立て直してみても, 物事を検査・分析するような作業も有効でしょう。本質を知るための「手触り感」

と, 分析過程で感じた「違和感」を大切にすることで, 内在するリーガルリスクの本質に迫ることができます。そのために必要な実務上のポイントを, 講師の体験を織り交ぜながら提示します。

5. リーガルリスクの検討における姿勢と視点
 - リーガルリスク把握の後, 対策の実効性検討などを行い, そのリスクインパクトを考え, 判断しなければなりません。この判断は, リスクが事業の基幹部分や対象企業・パートナー企業の信頼性そのものに関するものであれば要注意でしょうし, 場合によっては, 法務部が案件を止めねばならない場合もあります。我々が持っていない視点を他の管理部や経営幹部から得ることも重要です。一方で, マネージ可能なリスクについては, 新規分野への挑戦などに向け, 法務部門の「Navigation」・「Creation」機能が求められる場合もあります。リスクインパクトを正しく判断し, 事業現場をガイドしていく具体的なノウハウについて考えます。
6. 法務部門マネージャーとしてのリーガルリスク・マネジメント
 - ・日常の法務業務の中で, 経営課題を見出すことを習慣づける
 - ・法務部員を含め, 社員のリスク感度を高める
 - ・管理部門間でリスクを統合的に管理し, 透明性高く情報を共有する
 - ・経営レベルでリーガルリスクを議論するMCとなる

(講義時間: 約3時間)

講師紹介

高野雄市 (たかの ゆういち) 三井物産株式会社 執行役員 法務部長



三井物産株式会社において, 執行役員 法務部長として, ビジネス法務, ガバナンス, コンプライアンスなどを担当。社内では, 投融資案件審議会, ポートフォリオ管理委員会, サステナビリティ委員会などの委員も務める。経済産業省「国際競争力強化に向けた日本企業の法務機能の在り方研究会 - 法務人材 育成ワーキング・グループ」委員, 「新時代の株主総会プロセスの在り方研究会」委員。講演・論稿は, 企業法務部門の機能, 企業における法務人材活用・育成関連が中心。

ご視聴の要領

◇本セミナーは【収録動画】配信です◇

《視聴方法》ご視聴可能期間開始までに, Eメールにて視聴URLと動画・資料等閲覧のパスワードをご連絡いたします(パスワードご連絡後は, 視聴可能期間内であれば, いつでも, また何回でも繰り返しご視聴いただけます)。

- ご視聴可能期間: 2023年6月30日(金)10時～2023年7月31日(月)17時
- お申し込み期限: 2023年7月24日(月)まで
- 受講料(1名分): 33,000円(税込)——お申込み1口に対し, 1名様のご受講に限ります。

※お申し込み方法等は, 裏面をご覧ください。

講座開設の趣旨

- ◆企業を取り巻くリーガルリスクは年々複雑化・高度化しており、現実化すれば企業経営に甚大な影響をもたらします。このとき、事業部門にも経営にも接点を有しており、組織を貫くユニークなポジションにある法務部門は、①現場で生起するリスクを把握し、②経営に対する対策提案を行う任にあります。法務部門がこれらを実践してくれているという実感は、企業経営者の安心感につながります。
- ◆現場との関係では、法務部門担当者には、リーガルリスクへの感度を高め、これを適切に把握できる洞察力が期待されています。リスク感度を高めるには「手触り感」が、リスク判断には「違和感」に敏感であることが不可欠で、常識的感覚、論理性、責任感が求められるでしょう。
- ◆経営との関係では、リスク予防・コントロールにあたり組織内でリーダーシップを発揮し、関係部署の連携を主導しながら、必要かつ十分な説明を行い、認識を促してくれることが期待され、頼りにされています。
- ◆本セミナーでは、以上のような問題意識のもとで、組織内における法務部門がどのような位置づけにあるか(あるべきか)をあらためて確認し、法務部門がリーガルリスクに向き合う際によりよく機能を発揮するにはどうしたらよいかを考えます。そのうえで、個々の法務パーソンが持ち合わせるべきスキルと心構えについて、講師の体験などを交えながら解説します。全体を通じて法務マネージャーの皆様にお役に立つ講義を目指します。

【※本講座は、2022年3月29日～5月30日に配信したセミナーを再配信するものです】

お申込要領・ご注意事項

- 本セミナーは、収録動画を配信してご視聴いただきます。必ずお申込前に、弊社HPの各セミナー案内画面（下記QRコードよりアクセスできます）上の「WEBセミナーの推奨環境・受講方法」、「WEB配信ご利用の注意事項」をご覧のうえ、「テスト動画」にて視聴可能であることをご確認ください。
- 受講のお申込みは、下記QRコードのご案内画面からWEB上にてお申し込みいただくか、下記申込書に必要事項をご記入のうえFAX・郵便にてご送付ください。お申込みの受付後、請求書を郵送いたします。
- 受講料は、ご送付する請求書に従って、お振込みください。特にお申出のない限り、銀行の受領証をもって領収証にかえさせていただきます。なお、「振込手数料」等は、ご負担くださいますようお願いいたします。
- 視聴URL・パスワードのご案内後や、講義資料等を別途郵送する旨をご案内しているセミナーについての講義資料等発送後は、キャンセルは一切お受けできません。ご送付する請求書に従ってお振込みください。
- ご記入の個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」に従って適切に取り扱います。
- 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーの受講をお断りいたします。
- 講義内容等または主催者の都合により、受講資格を制限させていただき、受講のお申込みをお受けできない場合がございます。
- 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の市中感染状況や感染症蔓延防止のための政府方針、また天変地異の発生等の諸事情によりセミナーの開催・配信を中止・延期する場合がございます。
- 申込先 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2（日本橋フロント3階）
株式会社商事法務ビジネス・ロー・スクール（URL：<https://www.shojihomu.co.jp/>）
電話：03（6262）6761（ダイヤルイン） Eメール：law-school@shojihomu.co.jp

本セミナーの
QRコード →



切り取らないでください

〈有料WEBセミナー〉受講申込書

株式会社 商事法務 行

申込日：2023年 月 日

FAX. 03-6262-6802

●お申込欄中、※印の部分は必須でご記入願います。

講座名：『法務マネージャーによる「リーガルリスク・マネジメント」の実務』（受講料：33,000円（税込）1名分）

※社名	※住所	(〒 -)	
※部署名：	※TEL.	- -	
業種：	※受講者名	※受講者のEメールアドレス	社歴等(端数切上) 入社後 実務経験
			約 年 約 年
			今後のご案内の要否(注) 郵送希望Eメール希望

(注)本「受講申込書」ご記入の連絡先に、今後のセミナー案内等をすることを希望される方は、○で囲んで下さい。↑